

令和 2 年度

運営に関する計画
(中間評価)



大阪市立晴明丘南小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

全国学力・学習状況調査や、大阪市小学校学力経年調査の結果を見ると、本校の児童は、どの教科においても大阪市平均を上回っており、身に付けておくべき学力がおおむね定着していると考えられる。また、質問紙調査から見ても、規範意識や自尊感情なども全体的には高い傾向がみられる。しかし、ごく少数ではあるが、基礎学力に課題のある児童もあり、個別の対応が必要になっている。

3年間の生活科・総合的な学習の時間の研究・取組の成果で、自分から進んで課題を見付けたり、友だちと協働して課題解決の方法を考えたりという主体的な学習態度も少しずつ育ってきているが、まだまだ課題があるといえる。また、「友達と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広めたりすることができている」と感じている児童も増えてきているが、8割には到達していない。昨年度も、思考ツールを活用した取組をすすめ、自分なりの意見をもっての話し合いをしたり、ルーブリックを活用してめあてを明確化し振り返りを大切にしたりするという取組を進めている。

学習指導要領の改訂を受けて、育成を目指す資質や能力を考えたとき、さらに主体的な学びや、友達や様々な他者との対話的な学び、そして、将来を見据えた探究的な深い学びを充実し、汎用性のある活きた学力の向上と、互いの違いを尊重し協働的に活動できる豊かな人間性の涵養が本校の児童にとって重要であるといえる。また、特に今年度は想定外の事態に遭遇している現状にあって、そのなかで、どのように困難を乗り越えるかという工夫と今でこそその協働を意識した教育活動を展開していきたい。

そのためにも、価値ある体験を通して、主体的に課題を見付ける学習活動を指導者が工夫し、自ら学習に取り組む楽しさや、友だちと協働的に学ぶ楽しさを児童に実感させる授業改善をさらに充実させていきたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・平成29年度から令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年100%にする。
- ・令和2年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
- ・令和2年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・令和2年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

- ・令和2年度の小学校学力経年調査における標準化得点を平成28年度より3ポイント増加させる。
- ・令和3年の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 令和2年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

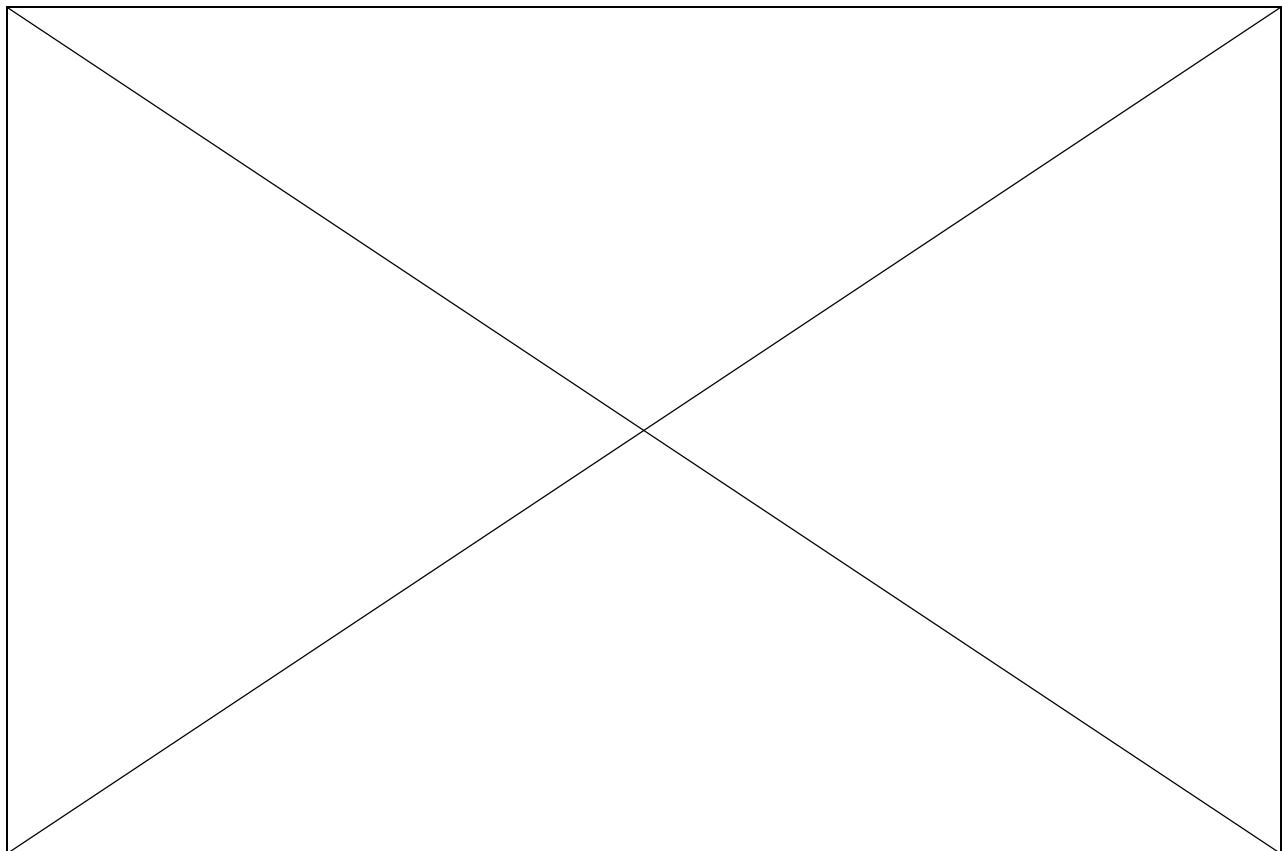
全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も3ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント以上増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。
- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を男女とも90%以上にする。

学校園の年度目標

- ・令和2年度の保護者アンケートにおける「学校は、体験的な活動を通して、子どもたちの主体的な学習をすすめている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を90%以上にする。
- ・令和2年度の校内児童アンケートにおける「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を年度当初より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括



様式（2）

大阪市立晴明丘南小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標（小・中学校）	
① 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	
② 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。	
③ 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。	
④ 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	
学校の年度目標	
・令和2年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 教育課程の中に、価値ある体験を位置づけ、各学年で体験を通して社会性や豊かな心情を育む。	
指標 ・社会見学など、地域や校外での体験的な学習を年間2回以上実施する。 ・校外学習や児童会活動などを活用して、異学年と交流する機会を2学期と3学期で実施する。 ・ペア学年での活動や縦割り班での活動としての児童集会の在り方を工夫し、令和2年度の児童アンケートにおいて、「児童集会での他学年との交流が楽しかった」と答える児童の割合を85%以上にする。	C
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 違いを認め、尊重し合える集団を育成する。	

指標

- ・互いに尊重し合える集団作りのために道徳の授業を活用し年間1回以上公開授業を行う。
- ・いじめ問題を扱った授業を全学級で行うとともに、いじめ対応マニュアルを周知し、学校全体でいじめ対応に取り組む。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。
- ・若手教員を中心とした学級経営や教材指導の研修会を年間10回以上実施する。

B

具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】

- ・各学年とも生活科・総合的な学習、校外学習、社会見学等を通じて、地域や校外での体験的な学習機会を設けることができた。「実物・本物にふれる」といった学校内ではできない経験をたくさん積むことができている。
- ・体験的な学習の実績
1年…中央公園清掃 2年…まちたんけん 3年…校区たんけん・商店街見学 4年…出前水道授業（12月予定） 5年…野外活動学習（信太山） 6年…カッタ一体験（淡輪海洋センター）
- ・低学年同士や中学年同士のペアをつくり、体験的な学習活動を進めることができた。生活科のがっこうたんけんやおもちゃランド、校外学習でのたて割り班遊びやオリエンテーリングなどでは、上級生が下級生をリードしたり、お互いに協力したりすることができたことで、児童たちは自己有用感等を育むことができた。
- ・ペア学年によるなかよし集会、班を分散させて行ったたて割り班での児童集会、6年生による体育参観の準備や片付けのお手伝い活動等を通じて、異学年間での交流を行うことができた。
- ・校外学習の実績（2学期）
1年+2年（浜寺公園…校外学習） 3年+4年（長居公園…校外学習） 5年（大阪歴史博物館・大阪城、住吉大社…社会見学） 6年（ピースおおさか・大阪歴史博物館…社会見学）

取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

- ・各学年とも道徳の公開授業を計画通りに実施できている。
- ・毎時間「道徳ノート」などを活用することで、自分の生活を見直す機会とはなっているが、まだ学習成果を実生活に活かせているとはいえない。
- ・各学級でいじめについて考える日にいじめを題材とした教材を使って、いじめを見つければ勇気をもってやめるよう伝えたり、大人に伝えたりすることの大切さについて考える授業を行った。また、友達同士でトラブルがあったり悩んだりしている場合には、その都度対応し複数の職員で対応するようにしている。
- ・いじめを考える日では、校長先生の講話や各学年で選定した教材を通して、「いじめは絶対にしてはいけない。」ということを考えることができた。今年度は絵本を活用し、自分の考えを視覚化する取組みも行ったが、積極的に参加する児童の姿が見られた。
- ・定期的にいじめアンケートを実施し、問題解決を行っている。
- ・友達のいいところを見つける活動を継続的に行い、その結果を掲示物や配布物、手紙などを通じて発信している。
- ・友だちのいいところみつけやピア・サポート等を通じて、お互いの良さや自分の良さに

気づく活動を行うようにした。また、おわりの会や班活動などでお互いの良さを認め合う場を持つようにしている。

- ・若手教員を中心とした研修会を継続して実施しており（11月24日現在で8回実施）、日頃困っていることや、他のクラスの取り組みなどを教員間で共有することにより、参加メンバー全員で指導レベルの底上げができている。また、若手だけでなく全教員に研修内容を配布することにより、学校全体で学級経営や学習指導についての意識を高めることができている。
- ・常日頃から中堅・ベテラン教員がアドバイスを送り、若手教員の資質向上を図ることができている。

今後への改善点

取組内容①

- ・コロナ禍で異学年交流や縦割り班活動などを従来ほどには行えていない。
集会委員会のメンバーが6年生が楽しみにしている活動でもあるので、何か工夫してやっていきたい。また、児童集会を複数回に分けて、班ごとに集まってできることをしたり、班ごとに栽培活動をしたり、6年生がリーダーとして活躍できる場を設定していく。
- ・全校での集会が実施できず異学年での交流時間が少ないので、特に高学年がリーダーとしての役割を果たすことのできる活動を工夫し、充実を図っていきたい。
- ・集会を講堂で行うことは難しいので、各教室に分かれたり、分散した曜日を学年で設定し、ペア学年だけで交流したりするなど、行える範囲で交流できる機会を設けていく必要がある。

取組内容②

- ・互いに尊重し合える集団作りについては、道徳の学習での感想だけではなく、「行動に移すことができたか」に焦点を当てて振り返りができるようにしたい。
- ・いじめを題材とした授業だけでなく、子どもたちの日々の言動をよく見ながら集団作りに今後も取り組んでいく必要がある。
- ・自己肯定感を上げるためにいいとこ見つけの時間を設けたり、自分の良いところに気づくことができるような活動の工夫をしたりする。

様式(2)

大阪市立晴明丘南小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>①小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も3ポイント減少させる。</p> <p>③小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>④小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>⑤令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の保護者アンケートにおける「学校は、体験的な活動を通して、子どもたちの主体的な学習をすすめている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を90%以上にする。 令和2年度のみなみんピック週間における「長座体前屈」の記録において、「前年度の体力調べの記録より1cm以上、上昇した児童の割合を80%以上にする。(長座体前屈測定器を使用する) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>基礎基本の学力の定着を図るとともに、個々の学力の向上をめざして、個に応じた課題の与え方を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語、算数、理科、社会の4教科すべてで学習教材データベースやドリルなどを活用し、能力に応じた個別の課題を与える機会をつくる。 週に1回自主学習を設定し、提出率を80%以上にする。 	B

取組内容②【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

主体的・対話的で深い学びの視点に沿った授業改革に取り組み、思考力の向上を図る。

指標

- ・子どもの学習意欲を高めるための研究を行い、授業研究会を年6回以上もつ。
- ・論理的に考え、協働的に考えを深めたり拡げたりする手立てとして思考ツールを活用した授業を全員が行う。月に1回「ツールの日」を設定し、公開授業を行う。
- ・授業において、子ども自身が学びを振り返る手立てとして、ループリックの活用をすすめる。月に1回「ツールの日」を設定し、公開授業を行う。
- ・平成31年度の校内児童アンケートにおける「生活科・総合的な学習の時間にすすんで取り組むことができましたか。」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。また、「総合的な学習の時間に友達と話し合い、協力することで課題を解決することは楽しいですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・全学級で月に4コマ以上、タブレットを活用した授業を実践する。

も一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

校内外の自然や、体験を通しての学習の充実を図る。

指標

- ・外部人材（専門家・企業・地域人材等）を活用した授業を全学年で実施する。
- ・実験や体験を重視した授業を全学年で実施する。

取組内容④【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

学校図書館の整備に努め、読書の推進を図る。

指標

- ・学校図書館開放の回数を増やし、利用児童数を昨年より増加せせる。
- ・読書ノートを活用し、学年ごとに目標冊数を設定する。目標冊数に到達した児童の割合を70%以上にする。（目標冊数 低学年90冊、中学年60冊、高学年40冊とする）
- ・図書ボランティアを活用し、読み聞かせや環境整備に努める。

取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

すすんで運動を楽しむことのできる子ども、自分の健康や体に関心をもって、自ら健康的な生活をおくろうとする子どもを育てる。

指標

- ・体育集会を年3回以上もつ。（ストレッチ・ミナミンピックの紹介等）
- ・柔軟性を高める手立てを全学年で実施する。（ミナミンピックカードなど）
- ・ミナミンピック週間を年3回実施する。（6月、10月、12月に実施予定）
- ・献立表や給食だよりを活用した食育の推進を全学年で取り組む。

具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・週に1回自主学習を設定し提出率が80%になるように工夫している。学級で共有したい自主学習を掲示したり、どのような自主学習に取り組むとよいか個別にアドバイスしたりしている。

B

B

B

B

取組内容②【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・計画通りこれまで3回の授業研究会を実施した。教員間で共通理解できるよう「研究通信」にまとめ、配布した。
- ・月1回ツールの日を設定し、思考ツール、ループリックを活用した公開授業を実施している。外部講師の指導を受け、それらの活用に慣れてきている。
- ・6月に行った「総合的な学習の時間についてのアンケート調査」において、総合的な学習の時間で身に付いた力や総合的な学習の時間の大切さについて実感している回答が多く見られた。(別紙)
- ・デジタル教科書は、積極的に活用できている。タブレットは、学年によって活用の頻度に差が見られる。

取組内容③【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・コロナ禍で例年通りの活動が実施できていないことが多い。しかし、このような状況下でもできるような工夫して取り組んでいる。今後も工夫して取り組んでいく。

1年 学校探検 晴寿会との清掃活動

2年 町たんけん おいもDAY

3年 地域団体インタビュー活動 ライフ出前授業
高齢者施設とのオンラインによる交流

4年 地域団体インタビュー活動

5年 防犯非行教室

6年 キャリア教育聞き取り

全学年 栄養指導

取組内容④【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・コロナ禍で、図書館開放、ボランティアによる読み聞かせなど、例年通りの取組が実施できていない。しかし、学級文庫の設置やブックトラックの設置、図書館便りの発行や読書週間によるしおりの配布などの取組により目標冊数を達成している児童が増加している。(1学期の目標達成率 低:64% 中:27% 高:53%)

取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・保健委員会によるストレッチの紹介が動画を使って行われたり、ミナミンピック強調週間を設定したりして、ミナミンピックに積極的に取り組めるように努めた。また、実施方法を改善したり、がんばりシールを工夫したりした。しかし、積極的に取り組んでいる児童となかなか取り組めない児童の二極化が見られる。
- ・発育測定時の保健指導や保健室前の健康に関する掲示が大変工夫され、いつも子どもたちが健康や体に対して関心をもてるようになってきている。
- ・献立表や給食により、栄養教諭による栄養指導、給食委員会による食べ物クイズなどを通して、食べ物や栄養について関心をもつことができている。

今後への改善点

取組内容①

- ・今後も自主学習に積極的に取り組めるよう家庭への啓発を行う。

取組内容②

- ・今後も計画通り実施し、次年度につながるように研究を深めていく。

- ・思考ツール、ループブリックの活用については、今後もさらに研究を深め、単元目標にそった活用の仕方を工夫する。
- ・週に1回以上ICTを活用した授業が実践できるよう、ICT年間指導計画、プログラミング教育年間実践計画に沿って実施する。

取組内容④

- ・今後も継続して読書活動の啓発や読書ノートの記録の徹底に努める。

取組内容⑤

- ・体育科の時間にストレッチを取り入れることによって、どの児童も取り組めるように各学級で工夫していく。今後もストレッチの紹介やミナミンピック強調週間を設定し、体力を保持増進できるよう努める。
- ・今後も継続して食育の推進に努める。